

命のバトン式

高知市立春野西小学校 (平成25年3月12日)

採卵風景

(平成24年6月15日)



子ガメ

(平成24年8月15日)



バトン式当日

(平成25年3月12日)



▼春野西小学校では、毎年4年生が1年間ウミガメの保護活動に取り組んでいます。4年生から3年生（新4年生）にウミガメのお世話を引き継ぐ「命のバトン式」が行われました。

ウミガメ保護活動家 熊沢佳範さんからの挨拶



「日本カワウソは絶滅したよね、ウミガメも絶滅危惧種に指定されていて、もしかしたら絶滅するかもしれません。小さな活動の積み重ねがウミガメの住む環境を守っていく取り組みになります。みんな、学習を続けて自然や生き物を大切にできる大人になってください。」

4年生による「ウミガメを守れ」の発表会



「春野西小学校は平成16年(9年前)からウミガメ保護活動をしています。産み落とされた卵を砂浜から、小学校のふ化場に移設し安全な場所でふ化して海に1匹でも多く返したいです！！」

たくさんの写真を見せながら説明しているのでとても分かりやすかったです。

矢野校長先生より授与式



4年生には感謝状、3年生へ任命証を代表者に渡されました。
「今までお疲れさまでした。」
「これから1年間ウミガメのお勉強頑張りましょう」

命のバトン式



▼2匹のウミガメ「クイール」「ことぶき」を4年生から3年生へ・・・
3年生はウミガメを初めて触って感触を確かめていました。

ふるさと（いのちのバトン） 合唱

作詞 2011年度春野西小学校4年生

作詞・作曲 冬村 右京 教頭先生

1. キラキラ光る波

海と遊ぶ子どもたち
広い砂浜 のびる海岸線
そんなきみのふるさと

長いたびを終えて

きみはかえってきた
5000分の1のいのちのバトン
こんどはぼくらが引きつぐよ

きみのふるさとは

ぼくたちのふるさとだから
きっと きっと守るよ

2. 打ち寄せられるごみ

行きかうヘッドライト
きみの道を さえぎるテトラポット
そんなぼくのふるさと

きびしいたたかいをへて

きみはかえってくる
春野の海につながるバトン
こんどはぼくらが引きつぐよ

ぼくのふるさとは

きみたちのふるさとだから
きっと きっと守るよ

3. 海へと続く道

手足をばたつかせながら
ふるさとのにおいを からだにおぼえて
ふたたびかえっていく

何万年もつづいている

いのちのつながり
きみたちが分けてくれたいのち
ぼくらがかならず海にかえすよ

きみのふるさとは

ぼくたちのふるさとだから
きっと きっと守るよ
きっと きっと守るよ



**最後に4年生と3年生一緒に『ふるさと（いのちのバトン）』を合唱しました。
子ども達の思いのつまった歌詞が心に響きます。**

次回は6月にウミガメ放流会が予定されています…